平成29年度 事務事業マネジメントシート

事	業名	姉妹都市	会計 款 項 目 大事 小事 01 10 01 04 02 64		
政	策	03	3節 学び、受け継がれ、進展する流山(教育・文化の充実向上)	主管課	指導課
施	策	3-2	個性を生かす教育環境の基盤充実	主管課長	西村 淳

事務事業の目的・内容

	子切子未 少 口叮 [1日						
事業 目的		流山市内の小学校5,6年 生児童30人	意図	姉妹都市である石川県能登町での豊かな体験を通して、子 どもたちの情操を育み、能登町の児童との交流を図る。			
事業内容		・ 姉妹都市である石川県能登町での豊かな体験を通して、子どもたちの情操を育み、能登町の 児童との交流を図る。					
事業開始か ら現在まで 流活動を3泊4日で実施している。参加費用が高額なため、年々参加児童が減少していった の状況変化 が、平成26年度より市が約半額の助成をしたところ、定員を超える応募があった。							

	事務	事業の実	<u>績・現状及</u>	<u>び成果る</u>	<u>を表す指</u>	拝の動	<u>きと</u>	コストの状況
		名	称	平成27年度	平成28年度	平成29年度	単位	目標 算定式 (成果指標の場合) 方向 算定式 (成果指標の場合)
		参加人数		40	30	30	人	
		参加率		100	100	100	%	参加人数 ÷ 募集人数
指標	Ē							
	指標で表すこ とができない							目的に対する現状(客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況)
	な成果							事業を広く周知するため、「広報な
事務	事業(カコスト	平成27年度	平成2	8年度	平成29年	F度	がれやま」に募集要項を掲載し、各学
事務事	業の総	ןגר(a=b+c)	3,524,54	0 3,	111,930	3,208	,649	校で能登町が作成したチラシを配布し ている。
事	業費((b)(円)	1,039,64	0	346,480	993	,689	この自然体験学習ツアーの成果のま
	うち-	-般財源	1,039,64	0 8	346,480	993	,689	
暗	員給与	費(c)(円)	2,484,90	0 2,2	265,450	2,214	,960	してもらう。
	人役	・職員(人)	0.3	3	0.33		0.33	助成をすることで、より多くの児童 が豊かな自然を体験し、能登町児童と
	人役・	再任用(人)						の交流を深めることができている。
	人役	・臨職(人)						市の広報で周知することで、姉妹都
	人役	・嘱託(人)						市との交流事業への理解を推進するとともに、児童が豊かな体験をする機会
初期技	初期投資コスト(円)(建設又は取得年度のみ記入)							を作っていることを市民に伝えてい
想定	耐用年	数(年)	(建設又は取得	年度のみ記	λ)			ర .

事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 < 主管課長記入 >

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

	1/ 事物事業についての計画及び予後の分門住								
		今後の必要性	A 考え	必要性が高まると られる	有効性	目標達成度	Α	達成できた	
	個別評価	必要性	市関与の必要性 A	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A る	対象者は適切であ	
				^	10 W.15 D. V.G	W + IT	コストの削減	Α	削減の余地はない
	総合評価	継	続 (事業	を現	状どおり継続すべる	き)			

(2) 事務事業の業務改善について

今年度 (H29)の 改善計画	参加者を増やすために、市から約半額の助成を行う。安全に実施されるよう、委託先や実施内容について能登町と検討する。
今年度 (H29)に 実施した 取組	市から約半額の助成を行ったことにより、定員を超える応募があった。事前に説明会を行い、安心安全に参加してもらえるよう理解を深めた。

取組の 課題	児童が楽しんで参加できるよう、安全 面・活動面のさらなる充実を能登町に 要望する。
今後 (H30以降) の 改善計画	安全性等について説明会を引き続き実 施し、児童が参加後の成果を記録し、 周知に生かす。